

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	岡山県における安全で快適に生活できる建設海岸づくりの推進（防災・安全）														
計画の期間	令和０２年度　～　令和０６年度（５年間）										重点配分対象の該当	○			
交付対象	岡山県														
計画の目標	平成１６年に既往最高潮位を記録した台風第１６号により浸水被害が発生した海岸について、高潮対策を実施し、県民の安全安心を確保する。 岡山沿岸海岸保全基本計画に基づき、高潮対策、老朽化対策、津波対策等を実施し、沿岸住民が安心して暮らせる地域社会の基盤を整備する。														
全体事業費（百万円）		合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		4,226	A	4,226	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合Ｃ／（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和２年度	令和４年度末	令和６年度末
1	・高潮対策により、平成１６年台風第１６号と同規模の高潮が発生した場合における浸水家屋解消、・老朽化対策により、海岸保全施設が破損・倒壊した場合における浸水家屋解消 高潮・津波・老朽化対策による浸水が解消される浸水家屋数			
		0戸	488戸	522戸
2	・津波又は高潮発生時の防災機能の確保及び地域住民等の避難体制の拡充・強化の推進 高潮・津波・老朽化対策により浸水が解消される浸水面積			
		0ha	23ha	25ha

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
海岸事業	A09-001	海岸	一般	岡山県	直接	岡山県	高潮	水国	三幡九幡海岸高潮対策事業	耐震護岸工L=2200m	岡山市	■	■	■	■	■	1,963	47.0	-
	A09-002	海岸	一般	岡山県	直接	岡山県	津高	水国	岡南海岸津波・高潮危機管理対策緊急事業	耐震補強工L=400m、浸水想定区域調査、海岸保全基本計画変更	岡山市	■	■	■	■	■	894	26.9	-
	A09-003	海岸	一般	岡山県	直接	岡山県	高潮	水国	後閑西海岸高潮対策事業	耐震護岸工L=780m	玉野市	■	■	■	■	■	634	4.4	-
	A09-004	海岸	一般	岡山県	直接	岡山県	高潮	水国	赤崎海岸高潮対策事業	耐震護岸工L=622m	倉敷市	■	■				270	128.9	-
	A09-005	海岸	一般	岡山県	直接	岡山県	高潮	水国	唐琴海岸高潮対策事業	耐震護岸工L=300m	倉敷市	■	■	■	■	■	205	7.5	-
	A09-006	海岸	一般	岡山県	直接	岡山県	老朽化	水国	三幡九幡海岸堤防等老朽化対策緊急事業	水門 1 基	岡山市	■	■				80		策定済
	A09-007	海岸	一般	岡山県	直接	岡山県	高潮	水国	岡南海岸高潮対策事業	護岸工L=400m	岡山市					■	100	26.9	-

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
		一体的に実施することにより期待される効果																			
		備考																			
海岸事業	A09-008	海岸	一般	岡山県	直接	岡山県	高潮	水国	金浦海岸高潮対策事業	護岸工L=2,340m	笠岡市					■	■	80	64.7	-	
												小計							4,226		
											合計							4,226			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

岡山県

事後評価の実施時期

令和7年8月

公表の方法

岡山県ホームページで公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

計画どおり高潮対策等が完了したことにより、高潮から人命及び資産を保全することができ、県民の安全で快適な生活の確保に資することができた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

高潮対策等を着実に進めることができ、徐々に危険性が排除されつつある期待から、高潮被害を受けた住民等の精神的被害の軽減に寄与できたものと推察される。

○特記事項（今後の方針等）

高潮による浸水被害の解消を図るため、引き続き、高潮対策事業等を推進し、海岸の防護機能を高め、県民が安全で快適に生活できる建設海岸づくりを推進する。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	浸水解消家屋数（戸）		
	最 終 目標値	522戸	
	最 終 実績値	522戸	
2	浸水解消面積（ha）		
	最 終 目標値	25ha	
	最 終 実績値	25ha	

社会資本整備総合交付金計画 位置図

